

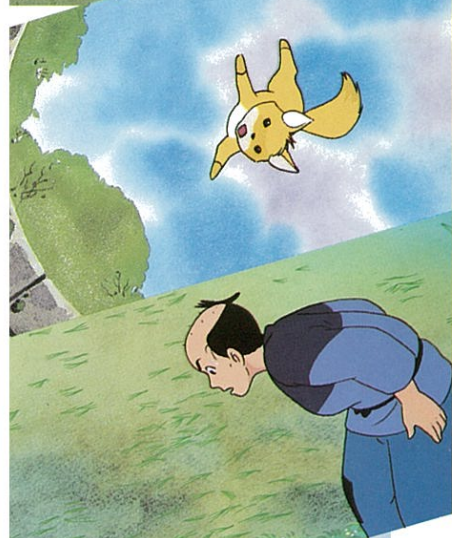
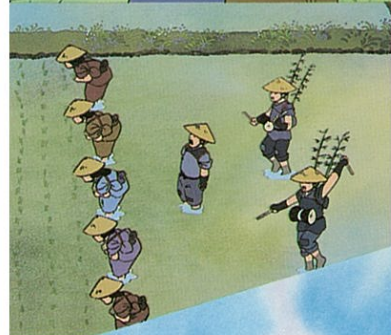
人権啓発アニメーション(28分)

きつねの かんちがい

文部省選定 監督:芝山 努

原作:大川悦生 (小学2年生 同和教育読本「にんげん」より)

©6756



企画/大阪市・大阪教育委員会
制作/株電通プロックス大阪支社

声の出演

語り……………向井真理子
そうごろう……堀川 亮
子ぎつね……佐久間レイ
村の子供……原えりこ
村人A…………永井一郎
村人B…………岸野一彦
村人C…………広森信吾
きつねA………中尾隆聖
きつねB………鈴木清信

スタッフ

プロデューサー…多比良建夫 音響監督……………浦上靖夫
脚本……………松本直司 編集……………坂本雅紀
監督……………芝山 努 (森田編集室)
音楽……………菊池俊輔 現像……………髙東京現像所
作 詞……………大川悦生 制作協力…髙旭プロダクション
演出コンテ……望月智充 髙亜細亜堂
作画監督………重国勇二
美術監督………板倉佐賀子
撮影監督………三沢勝治

Feb. 1989

制作にあたって

大阪市では、市民の皆さんに同和問題をはじめ、人権問題に対する正しい理解と認識を深めるために、映画の制作や啓発冊子の発行など学習教材の提供を行っております。

今回、幅広い年齢層の方に利用していただけるよう、同和教育読本「にげん」小学2年生の教材「きつねのかんちがい」をもとにアニメーションを制作いたしました。

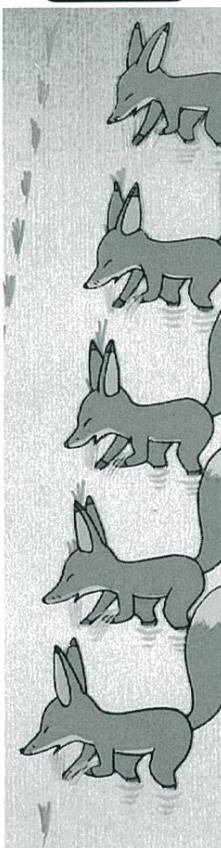
原作は、奈良地方に伝わる民話を、作家の大川悦生さんが再話した、豊かな温かい心を描いた文学作品です。このアニメーションが社会教育や学校教育の場で、“感性”に訴えるための学習教材として活用されますよう、願っています。

私達の身の回りには、「かんちがい」や「思い込み」「きめつけ」などによって、敵対したり、憎しみをつのらせたりして相手を傷つけたり苦しめたりすることがよくあります。本人自身ではどうにもできない要素によって悪意に判断されてしまったとしたら、その判断は訂正されなければなりません。

この映画は、私達が身近な日常の諸問題を通して、合理的、科学的なものの見方、考え方を身につけ、自分の意見をはっきり主張し、行動できる人間として心がけねばならないという願いをこめて制作いたしました。

あらすじ

- 昔々、「そうごろう」という、貧しいけれども働きもので、たいそう心の優しい若者がいました。「そうごろう」の村の人々の貧しい暮らしぶりが語られます。
- 地主の指図のもとで、村の人々が総出で原野を開墾して田畑を広がっています。それをきつねが見ています。
- 続いて、きつねと人間の子供との、無邪気な交歓の場面になります。
- 「そうごろう」が借りている三たんごさという広いたんぼで、村の人達の加勢で田植えが行われています。村人たちの田植えと同時進行で、子供と遊ぶため村里に出て来たきつねが、不意に現れた犬に追いかけて、誤って野井戸に落ちて死ぬという悲劇が起こります。
- 田植えが終わった「そうごろう」は、わらじを洗おうと野井戸に近づいて、井戸の中で死んでいるきつねを見つけます。きつねの死は、「そうごろう」に三年前の自分のおっかさんの死を思い出させます。この年は飢饉で、お米が不作だったにもかかわらず、地主に決められた高い年貢を取られたため、母親を病と飢えで失ったのです。「そうごろう」は自分の悲しかったことを思い出して、死んだきつねを懇ろに葬ってやりませす。
- ところがその夜、「そうごろう」の家は、無気味な声に襲われます。翌朝、たんぼに出た「そうごろう」は、驚いてしまいます。村人総出で植えた苗がごとごとく引き抜かれていたのです。
- 気を取り直して「そうごろう」は、真相の究明にかかります。畦道についたたくさんきつねの足跡、ハッと気がついてきつねの墓へ行ってみると、はたして土が掘り返されています。
- 「そうごろう」のたんぼに、田植えを手伝ってくれた村人たちが集まって来て、きつねの悪質ないたずらに、怒りを爆発させます。



- ところが「そうごろう」は、怒る村人たちをむしろなだめようとします。そのため、「きつねの肩を持つ奴の田植えのやり直しはしてやらん」と、村人たちの怒りを買ってしまう結果になるのです。
- 村人の怒りまで引き受けてしまった「そうごろう」はまず、きつねたちの誤解を解くため、行動を起こします。野山を駆けめぐり、きつねたちに真実を訴えようとしたのです。
- 一人寂しく戻って来た「そうごろう」は、たった一人で田植えのやり直しを始めます。しかし、日が暮れて、田植えはほんの一部だけもとに戻せたにすぎませんでした。
- その夜、「そうごろう」の家に、またきつねたちがやってきました。「そうごろうさんすまなんだ。三たんごさ、また植えた、また植えた。」と歌う声を聞いて、「そうごろう」が外に出てみると、戸の前につきたての大きなかみ餅がひと重ね置いてありました。
- 翌朝、「そうごろう」のたんぼの回りで、集まって来た村人たちが驚きの声を上げています。きつねたちが見事に田植えをやり直していたからです。
- きつねたちの住んでいる、山の竹やぶにやって来た「そうごろう」は、きつねたちに貰ったかみ餅のお返しに、油揚げを10枚、竹に刺すのです。
- やがて実りの秋。黄金色の稲穂が輝く「そうごろう」のたんぼで、村人総出の稲刈りが始まっています。この時「そうごろう」は、かわいい村娘の好意的な表情に出会うのです。
- 秋が深まったある日の夕刻、山道を花嫁を乗せた馬が通っていきます。すると、きつねたちの喜びの音が聞こえて来て、美しいきつね火がポツポツと灯っていきます。「そうごろうさんの嫁さんじゃあ、きれいなええ嫁さんじゃあ。」村里では村人たちが、明るく燃える美しいきつね火にすっぴりと包まれながら進む花嫁を喜んで出迎えています。

ライブラリー価格

DVD 55,000 円 (税抜 50,000 円)

- ★各々のプリント1本につき、小冊子「学習の手引き」(B5、16頁)を1冊ずつ添付します。
- ★プリント送料は含まれていません。

発売元/株)電通プロックス大阪支社

「人権啓発アニメーション」販売係

〒530 大阪市北区中之島2-3-1(中之島幸ビル)
TEL 06(229)0242(代) FAX 06(229)0219



株式会社 教配
URL: <https://www.kyohai.co.jp>

〒190-0012

東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア
TEL 042-518-9774 (代) FAX 042-518-9785